



安をもつ保護者には、「こども発達センター」と連携して、発達相談・教育相談を随時行うことで、よりスムーズな就学につなげます。さらに、高浜市学習等支援事業「ステップ」や「あすたか」との連携を深めます。

③相談活動・学習支援の充実

「こころの相談員」は「ほっとスペース」に常駐し、利用している児童・生徒の支援にあたることを基本とし、各校の要請に応じて、児童・生徒や保護者、教職員の相談を行います。また、スクールヘルパーを中学校に配置し、学校不応答をおこなっている生徒の学習支援や生活支援を行います。これは、「自分が大切な存在、価値ある存在である」と思っている「自己肯定感」と、「自分が誰かの役に立っている、誰かに必要とされていると思う心」である「自己有用感」を育むことにつながります。相談活動や学習支援だけでなく、学校生活のさまざまな場面を充実させることで、心を育み、不登校やいじめ対策につなげていきます。

④外国人支援教育の充実

外国籍の子は、現在20人弱が在籍し、多国籍化が進む傾向です。日本語教育が必要な子には、通訳者を3人配置し、通訳・翻訳活動、相談活動、言語指導、進路相談など細やかな対応を行うことで、日本の学校への適応を図ります。

また、言語や生活習慣等が不慣

れな外国籍の児童生徒を対象とした、翼小学校における「くすのき学級」での適応指導の取組も成果を上げており、平成29年度も継続して実施します。

4 地域と協働する学校

学校を「学びの拠点」とし、地域の方が授業や学校行事などをとおして、子どもたちと交流する場となるように努めます。特に、生活科や総合的な学習の時間などの「高浜カリキュラム」の実践や各種学校行事では、平成28年度、中学校で市長や市職員と共に高浜市の財政や市政を考える学習を試行しましたが、今後も保護者・地域の方に積極的な協力をいただき、共に活動し、共に学ぶ機会となるような授業や学校行事を展開できるように構想していきます。

また、子どもたちが地域行事に参加・参画することを通じて、地域の方とのふれあいを密にしていきます。そして、地域行事を通じて、高浜市の文化を継承、開発、発展させることができるように働きかけていくことで、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」をめざします。

さらに、学校関係者評価委員会の活動を充実させ、学校・家庭・地域がそれぞれできることを確認し、協働するための学校づくり活動を展開することにより、この委員会が学校の地域応援的な存在となるよう、

綿密に連携していきます。

5 安全で快適な教育環境

学校は児童生徒にとって学びの場・生活の場であり、公教育を支える基本的施設です。また、地域の皆さんにとっては、地域コミュニティの拠点でもあることから、学校が地域との関わりを大切にしたい市民の学び舎となるために、教育環境の整備を計画的に進めます。

また、老朽化に伴う改修や修繕については、「高浜市公共施設総合管理計画」を基本として、各校の必要に応じて計画的かつ速やかに対処します。

さらに、教育のICT化を見据え、小・中学校のタブレットや電子黒板、モニターなどの充実を図り、児童・生徒が学習に興味をもち、積極的に授業に臨める環境づくりに取り組めます。

学校は、今を生きる子どもたちにとって、未来の社会に向けた準備段階としての場であると同時に、現実社会との関わりをなかで、毎日の生活を築きあげていく場でもあります。高浜教育ビジョンである「高浜を愛し、高浜の良さを学んで、高浜でたくましく生きる未来市民の育成」の実現に向け、今後とも、家庭や地域の方から協力をいただきながら、地域と協働する学校づくりを推進していきます。